

岩手産業保健推進センターだより No.11



暑～い暑～い夏がやっと過ぎ去り、ようやく秋がやってきたと思ったら、今度はいきなり寒くなってしまいました。やはり地球温暖化による異常気象なのでしょうか・・・

さて、今年も10月、11月、12月の3ヶ月となりました。あっという間でしたね～。
岩手産業保健推進センター／メンタルヘルス対策支援センターの事業も順調には言い難い部分もありますが、何とか皆様のご理解ご協力により実施してまいりました。十分な支援とは言えないかもしれませんが、これからも皆様のお役に立てるよう頑張っております。心と体の健康確保に向け、相談、研修、訪問支援等々、是非ご利用頂きますようお願い申し上げます。（インフルエンザの季節が近づいてきます、早目の対策を！）

INDEX

1. ご利用案内
2. 研修会の様子
3. 研修会の開催予定
4. 産業保健相談員から

1. ご利用案内

≫≫「**メールマガジン**」にご登録を！

センターのHPを開き、「メールマガジン」にご登録（無料）頂きますと、毎月1回、定期的に、最新の産業保健情報、法改正の動向、研修会の案内等が届きます。各種情報収集にお役立てください。

≫≫「**実地相談**」をお受けしております。

専門の相談員が現場・工場・作業場に直接赴き、問題点について意見交換しながら、現場の状況に応じた改善方法等をアドバイスいたします。

≫≫ ビデオ、DVD等視聴覚機材を使った「**出張ビデオ研修**」をお受けしております。

管理職、各級担当者への研修をご予定されておりましたら、一度当センターにご相談ください。

電話 019-621-5366 / FAX 019-621-5367 又は、当センターHPから、メールでもご連絡いただけます。

図書や各種測定機器の貸し出しも行なっておりますので、どうぞご利用ください。

≫≫「**各種セミナー**」をお受けしております。

災害防止団体・業界団体・工業団地・協同組合・企業グループ等で、健康確保対策、労働衛生対策、メンタルヘルス対策、等に関する研修会や勉強会等を企画されておりましたら、是非ご連絡を！ 専門スタッフを講師とする研修をご検討ください！

2. 研修会の様子

4月～6月、衛生管理者、人事労務担当者、産業看護職等を対象とする研修会を実施しました。多数の方々にご参加頂き感謝申し上げます。研修会の様子をご覧下さい。



カウンセリング研修（24.8.6）盛岡会場
「アサーション」大勢の参加者で賑わい、皆さん熱心に話を聴いていました。



衛生管理者等研修（24.7.25）一関会場
精神科の上田先生による睡眠に関する研修



産業医研修（24.8.25）北上会場
職業性疾病の予防「有機溶剤等による中毒の防止対策」



管理監督者等研修 (24.9.25)
仕事と生活の両立のために、岩手労働局雇用均等室より講師をお招きしての研修



全国労働衛生週間における研修会 (24.9.3)
労働基準協会大船渡支部との共催
「心の健康～セルフケア～」



全国労働衛生週間における研修会 (24.9.11)
労働基準協会釜石支部との共催
「騒音、粉じん」保護具の着用等の実習

3. 研修会の開催予定(10月～12月の予定)

岩手産業保健推進センターでは、衛生管理者、衛生推進者、健康管理担当者、産業看護職、人事労務管理担当者、管理職、事業主等の「産業保健スタッフ」の活動を支援するため、健康対策や労働衛生対策、メンタルヘルス対策等に関する研修会を開催しております。是非ご参加ください。

お申込み・お問合せは、岩手産業保健推進センター（電話 019-621-5366 FAX 019-621-5367）又はホームページ（<http://www.sanpo03.jp/>）のメールフォームからどうぞ。

10月開催

日時、場所	研修テーマ等	講師
10月10日(水) 13:30～16:30 盛岡市 アイーナ 802 会議室	健康確保対策シリーズ1 【目と歯の健康対策】 「適正なVDT作業とは」(仮) 「歯の健康対策の知識」(仮)	小野田相談員 岩手県歯科医師会 中村ますみ先生
10月13日(土) 14:00～17:00 一関市 ホテルサンルート一関	産業医研修Ⅲ ※一関市医師会主催 【放射線による健康への影響】 【メンタルヘルスに関する産業医の関わり方】	小野田相談員 坂下相談員
10月16日(火) 13:30～16:30 盛岡市 アイーナ 811研修室	健康確保対策シリーズ2 「メンタル不調と各種疾病」 ①行動・身体・気持ちの変化への気付きと対応 ②適応障害、双極性障害、統合失調症などの対応	坂下相談員 青木特別相談員
10月19日(金) 13:30～16:30 北上市 オフィスプラザ	職場の有害環境対策シリーズ3 「有機溶剤」 ①適正な局所排気装置の設置、保守点検 ②保護具の適正な使用と管理 ③作業環境測定と結果の活用	中屋相談員 関向相談員
10月24日(水) 13:30～16:30 一関市 文化センター 小ホール	カウンセリング研修Ⅱ-2 (メンタルヘルス推進担当者等の実務担当者等を対象とする研修) 「アサーション」(ワーク含む)	今松相談員
10月26日(金) 13:30～16:30 盛岡市 アイーナ 810研修室	職場の有害環境対策シリーズ2 「粉じん対策」 ①必要な粉じん対策とは ②作業環境測定と結果の活用 ③粉じん測定の実際(実習)	小野田相談員 関向相談員

※事情により研修内容等を変更することがありますので、申込前にセンターHPでご確認ください。

11月開催

日時、場所	研修テーマ等	講師
11月7日(水) 13:30~16:30 盛岡市 アイーナ 702研修室	カウンセリング研修シリーズⅢ-1 傾聴スキルの習得 (第1回目) ※全3回シリーズ	今松相談員
11月9日(金) 13:30~16:30 盛岡市 アイーナ 802研修室	職場の有害環境対策シリーズ4 「中毒の予防」 ①酸素欠乏症、硫化水素、一酸化炭素中毒 ②リスクアセスメントの実習	中屋相談員 関向相談員
11月14日(水) 13:30~16:30 盛岡市 アイーナ 802研修室	健康確保対策シリーズ3 「腰痛予防対策」 ①腰痛予防はメタボ改善にもなる?(仮) ②背骨と股関節の歪みを矯正(仮)	立身相談員 予防医学協会 高橋 力 先生
11月17日(土) 14:00~17:00 盛岡市郊外の工場	産業医研修Ⅳ 「職場巡視とリスクアセスメント(実地研修)」 ①工場巡視のポイント ②巡視結果によるリスクアセスメント実習	関向相談員 川上副所長
11月20日(火) 13:30~16:30 盛岡市 アイーナ804B会議室	職業リハビリテーションフォーラム 「職場復帰支援の進め方」 ①職場復帰支援の進め方とポイント ②シンポジウム「職場復帰支援の実際」	中屋相談員 ※岩手障害者職業センターとの共催 シンポジスト:企業、医療ほか
11月21日(水) 13:30~16:30 盛岡市 アイーナ 702研修室	カウンセリング研修シリーズⅢ-2 傾聴スキルの習得 (第2回目) ※全3回シリーズ	今松相談員
11月28日(水) 13:30~16:30 盛岡市 アイーナ 803会議室	救急救命講習(緊急時の救命措置) 心肺蘇生、AEDの使用 (※修了証が交付されるAEDを使った救急救命研修)	消防署

12月開催

日時、場所	研修テーマ等	講師
12月4日(火) 13:30~16:30 盛岡市 アイーナ 811会議室	事業主支援ワークショップ(岩手障害者職業センターとの共催) 「職場復帰支援」	坂下相談員 藤井促進員
12月5日(水) 13:30~16:30 盛岡市 アイーナ 702研修室	カウンセリング研修シリーズⅢ-3 傾聴スキルの習得 (第3回目) ※全3回シリーズ	今松相談員
12月11日(火) 13:30~16:30 盛岡市 アイーナ 811会議室	メンタルヘルス対策シリーズ8 ①折れない社員の育成 ②「適応障害」の対応	坂下相談員
12月14日(金) 13:30~16:30 盛岡市 アイーナ 811会議室	「もう一度見直したい職場のセクハラ防止対策」 「快適職場指針」	岩手労働局 雇用均等室 中屋相談員
12月19日(水) 13:30~16:30 盛岡市 アイーナ 702研修室	カウンセリング研修シリーズⅢ-4 認知行動療法 (第1回目) ※全5回シリーズ	今松相談員
12月26日(水) 13:30~16:30 北上市 さくらホール会議室	健康確保対策シリーズ4「産業看護職の役割」 ①高血圧と脳心臓疾患、生活習慣病の予防 ②有所見率はなぜ高い、どうすれば有所見率が下がるか(意見交換)	大澤相談員 菊地促進員

4. 産業保健相談員から …「有機化合物は無量大」

紫外線を当てると高い電気伝導性と磁性が同時に現れる2種類の有機化合物の開発に、愛媛大学の内藤俊雄教授（固体物理化学）のグループが世界で初めて成功した（岩手日報2012年9月24日社会面）。消費電力を金属より小さくでき、コンピュータの記憶媒体などに応用が期待される。これまで開発されたものと違い、常温常圧で可能となり、さらに光で性質をコントロールできるため遠隔でオン、オフの操作ができるという。

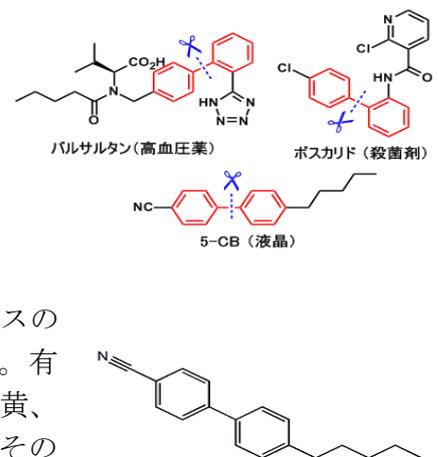
ところで、**有機化合物**とは、炭素（木材を不完全燃焼した時に出るススの主成分）を含む化合物であり、我々生物の構成要素としても重要である。有機化合物は炭素骨格の長さや分岐の多様性に制限がなく、窒素、酸素、硫黄、りん、塩素などが炭素に結合した多様な構造と性質を持っているので、その応用範囲は無量なのである。

2010年、鈴木章北海道大学名誉教授がノーベル化学賞を受賞したことは記憶に新しい。「有機合成におけるパラジウム触媒クロスカップリング」の発明によるものである。「鈴木クロスカップリング」と呼ばれる手法が発表されたのは1979年で、8ビットパソコン（ホビーパソコンとしての黎明機種）が発売される少し前であり、ワープロもなく、論文は手書きの時代である。当時、筆者は化学を勉強し始めた頃だったが、インターネットもない時代であり、論文として見る機会もなく、世界の大発見を知る由もなかった。有機化合物の合成とは、有機化合物どうしを反応させて新たな物質を作り出すことだが、最も重要な「炭素と炭素の結合」を自在に作ることは当時不可能とされていた。クロスカップリングとは、異なる2つのものを結合して新たなものを作り出す反応であり、医薬品や機能性材料によく見られる、ベンゼン環とベンゼン環をつないで「ビアリアル骨格」と呼ばれる構造をつくる手法はこれを利用して、安定で取り扱いやすい有機ホウ素化合物と、炭素-ハロゲン（塩素や臭素など）結合を持った化合物を触媒存在下で混合させる事により合成する事ができるというものである。この手法によって有機化合物の製造コストが格段に下がり、世界中の化学メーカーや製薬メーカーが恩恵を受けており、液晶テレビやパソコン用ディスプレイ、有機EL（有機エレクトロルミネッセンス）ディスプレイの製造でも使われている。また、高血圧症の薬の成分であるバルサルタン、農薬の殺菌剤であるボスカリド、液晶の一種である4'-ペンチル-4-シアノビフェニルなどはこの方法を利用した代表例である。

化学技術の発達により様々な材料が生み出され、我々の生活は便利になった。20世紀後半、プラスチックが作られるようになると、かつて金属で作られていたものがプラスチックに代わり、木製がゴム製に代わった。有機合成化学はますます発展し、塗料、接着剤、洗浄溶剤の開発・合成から、薬理活性のある物質の抽出・合成、医薬品の開発へと進み、生活向上や医療へ貢献してきたのである。今後、有機化合物は機能性材料分野での応用がますます進み、半導体材料や太陽電池材料など多方面に応用が期待されるフラーレンやカーボンナノチューブなどは現在の高度に発達した社会を支えていくものと期待している。

改正女性労働基準規則が平成24年10月1日に施行される。PCB、エチレンオキシド、マンガン、セロソルブ、キシレン、トルエンなど25の化学物質を取り扱う作業では妊娠の有無や年齢などに拘わらず、法令に基づく作業環境測定を行い「第3管理区分」となった屋内作業場でのすべての業務に女性労働者を就かせることが禁止される。

我々は化学物質の恩恵を被ってきたが、同時に化学物質による健康障害も経験してきた。化学物質の有害性をしっかり認識し、リスクを評価して適切に使用することが求められる時代になったのである。



公益財団法人岩手県予防医学協会 医療技術部長次長(兼)環境保健課長 関向和明
(労働衛生コンサルタント、第1種作業環境測定士)